



「輝く、元気なまちづくりを目指して」

市長と学生との懇談会を開催

市民の声を市政に反映させる広聴の一環として、まちづくりに対する学生の考えを聴く「市長と学生による懇談会」を2月22日に実施しました。テーマは「輝く、元気なまちづくりを目指して」。

名寄市立大学保健福祉学部各学科、名寄市立大学短期学部の1、2年生22人から、まちづくりへの活発な意見や提言などが出されました。

意見交換について

項目ごとに意見をいただき、項目全体について市長が今後の方針などを回答。※紙面の都合上、要約しています。

1 名寄のまちの印象について

▼学生意見・提言など

- ・(1) 商店・飲食店について
 - ・ 大学周辺に飲食店などがなく、商店が点在している。
- ・(2) 自然環境について
 - ・ 自然、特に雪質の良いスキー場はインパクトがある。

▼市長の方針など

商店の散在については、これまでの歴史もあるため、早急に1カ所に集めることは難しいが、商業経営者などに働きかけをしたいと考えます。

また、現在、地域をつなぐ利用しやすい交通体系を検討しています。駅横の整備計画の中で、バスターミナルや観光案内所の設置についても検討しています。

2 名寄のセールスポイント

▼学生意見・提言など

- ・(1) 自然（雪・星・空気）
- ・ 雪質の良いスキー場

- ・ 星がきれいに見えること。
- ・ 名寄に来て花粉症を発症しない。空気が澄んでいること。

▼市長の方針など

- ・(2) 商業、農産物
 - ・ もち米、アスパラ、カボチャなどの農産物
- ・ 道北における商店、商業施設の中核地
- ・(3) 安心・安全
 - ・ 地震がない、除雪対策がしっかりしているなど、安全で住みやすい。
 - ・ 病院は夜間の緊急対応などを含め、安心・安全面の貢献度が高い。

▼市長の方針など

雪質の良さでは東京、新潟など全国各地からリピーターが訪れています。さらに、名寄の雪質の良さをPRしたい。

天体環境では灯りが少なく、盆地で空気のゆらぎも少なく眺望環境に恵まれています。北海道大学もここに注目し、提携し1.6mの鏡をもつ大型望遠鏡の設置を行いました。この望遠鏡を4月29日から一般公開し、グラントオープン事業を行います。

また、花粉があまり飛散していないことは、東京から来名する大学生も同様のことを話していました。

名寄の売りは、自然や農産物と考える人が多いようですね。

3 伸びが期待できる名寄の財産

▼学生意見・提言など

- ・(1) 大学
 - ・ 大学を中心としたまちづくり（大学の図書館などの充実と大学周辺のコンビニ、飲食店などの充実が必要）
- ・(2) 農業・農産物
 - ・ 農業従事者は減少しているが、名寄のもち米、アスパラは美味であり、農

業は伸びが期待できる。

・ 名寄のもち米は、全国的に有名な和菓子原材料になっているが、原材料名に名寄産と明記できないものか。アスパラなど都会に負けない素材が多い。名寄を食でアピールしてはどうか。

- ・(3) ウィンタースポーツ施設
 - ・ 雪質がよいスキー場、ジャンプ場、カールディング場などウィンタースポーツ施設
- ・(4) エリア（なよろ健康の森）
 - ・ なよろ健康の森への交通の利便性を高めることで幅広い年齢層のいいこの場としての定着が期待できる。

▼市長の方針など

大学内部の施設整備について、図書館整備資金の積立てをしています。また、新年度、3カ所のクーラー整備の予算付けをしています。図書館などの施設整備の構築は教員、学生の意見の伺い計画を進めます。

名寄の農産物は、全国的に非常に高い評価を受けています。農業従事者は全国的に減少傾向にありますが、定着できる、やりがいのある農業環境の整備も必要です。ひまわり栽培のような観光にもつなげられる特色ある農業の確立も大切です。有名和菓子の原材料の表示については、材料のほとんどではあるが100%名寄産ではないため残念ながら「名寄産」と表示できません。

名寄ブランドでは、お菓子やトマトジュースなど販路拡大の営業努力が見られます。これを推進する政策を充実させたいと考えています。

4 名寄ライフを充実させるキーワード

▼学生意見・提言など

A ROUND-TABLE CONFERENCE



- (1) 商店・娯楽施設
- ・バラエティに富んだ商店の充実
- ・子どもの遊ぶ場や遊具シヨップの充実
- (2) 文化
- ・道北で活躍する演奏家、美術家による演奏会や展示会の開催で文化面が充実
- (3) 交通機関の充実
- ・他市町村にアクセスするバスやJR、市内循環バスの便数増と終便をおそくすると快適度が増す。(市内循環バスの終便を遅くするのは、土、日のいづれかでもよい)
- ・市内循環バスの徳田への延長(冬期間のみでも延長できないものか)
- ・ひまわり畑や天文台、農業施設壁画など見どころスポットへの交通の利便性を高めることで観光拡大につながる。
- (4) 地域との関わり強化
- ・大学と地域との関わりを強化すると市民もより充実した生活が送れる。学生も名寄をより一層知ることができ。
- (5) 大学施設設備
- ・学内は、夏季冷房がなく暑すぎて授業に集中できない。
- (6) 生活環境
- ・学生が居住するアパートの大家さんとの話し合いの場がほしい。市と大学が協力して充実させてほしい。

▼市長方針など

東洋経済新報社が出している全国都市住みよさランキングで787市のなかで名寄市は132位、道内35市の中では1位です。住みよさランキングの5つの尺度のうち利便度も高く、787市のなかで77位。統計上、人口あたりのお店の数は多いのですが、遠い、バラエティに欠けてのは3万人のまちだからかもしれません。関係機関に働きかけをしていきます。

バスの運行変更については、民間会社が行っているものなので難しいかもしれないが、利用しやすい交通体系(夜間の運行、冬期間の便数を増やすなど)をテーマにも含め研究します。また、都市間のアクセスについても検討課題です。大学と地域との関わり強化という貴重な意見について、大学の理念の一つに地域貢献があります。大学が地域と関わることでよりまちの価値が高まります。学生と町内会活動などについて研究させていきたいと思います。

▼大学事務局

今年度から、大学事務局と学生委員会担当教諭とアパート経営者との懇談を行っています。学生にとって住みよい条件整備に向けて、相互の意見交換の場でもあります。問題点など学生係が窓口となります。

5 その他「名寄のまちづくり全般に関する意見や提言」

▼学生意見・提言など

- (1) 施設整備について
- ・河川敷にある野球場の整備
- (2) 道路・除雪について
- ・道路設備で、ピリ砂で自転車がパンクする。早いうちに除去してほしい。
- ・夏、自転車で中通りを走ると道路がガタガタ。道路を整備してほしい。
- ・大学通学路歩道の除雪をしてほしい。
- ・高齢者への除雪助成措置を講じてはどうか。
- (3) 関係機関の連携
- ・予防接種、検診などの明瞭な説明を。また、病院で従来市役所で行っている手続きができるとう便利。市役所、保健センター、病院の連携を図ってほしい。

▼市長方針など

ピリ砂について、早めに除去処理するようにします。道路がいたむのは凍上が原因。抜本的改善には莫大な費用がかかるため、できるだけ応急措置をとります。高齢者の除雪については、助成制度があります。町内会や中学校の生徒も除雪サービスを行っているところが、今後一層、地域で取組みを推進してほしいと考えています。

歩道の除雪は大きな課題。歩道の除雪は小中学校の通学路を重点的に行っています。学生の通学路も調査します。病院、市役所、保健センターとの連携については、今後、連携を強化します。

市長のまとめ

意見交換の中で、皆さんが特に交通面で不便を感じていることがわかりました。学生生活が快適になるよう関係機関に働きかけをしたいと考えます。大学の地域貢献についての意見も出ました。3万人のまちだからこそ学生700人の動きがまちを変えるインパクトがあります。都市部では、一つの大学が動いてもまちの動きには及びません。ぜひ、地域貢献を含め、名寄で活躍してほしい。今後、皆さんが名寄に来てよかったと思いい、卒業して貰えるまちづくり、そして大学づくりを推進します。意見交換の中で、普段気づかない観点のお話を伺うことができ、有意義な懇談会となりました。貴重なご意見をいただきありがとうございます。

懇談会の詳しい内容は、名寄市ホームページ「広報」広聴をご覧ください。懇談会主催「総務部情報広報課広報広聴係」01654③2111内線3403